

今年もインフルエンザワクチンの季節がやってきた

2010.10.04

暑かった夏も終わり、過ごしやすい日が続くかと思ったら、急に寒くなって、子どもたちは咳が出たり、鼻水が出たりと体調を崩している子が多くなっています。春先からつづいていたおたふくかぜの流行も一段落で、今年もインフルエンザの流行に備えてワクチンをする季節がやって来ました。

昨年は季節型のAソ連型、A香港型、B型の三種類のワクチンと新型インフルエンザワクチンを別々に受けなければなりません。特に、新型インフルエンザワクチンは接種の順番や値段まで国が関与したために随分と現場は混乱しました。

今年のワクチンは新型、A香港型、B型の三種類が混合されたワクチンです。新型と季節型の両方が一度に出来るというものですので痛いことは最大2回で済みます。Aソ連型はどうなったの？と考える方もおられるかも知れませんが、新型とAソ連型は実はよく似ているものらしく、新型をすることでAソ連型もある程度はカバーしてくれるようです。

今年だけの限定かもしれませんが、各市町村でインフルエンザワクチンに対する補助を定めております。各市町村で補助をする対象、補助の仕方など別々ですので、市町村の広報を参考になさるか、市町村に問い合わせるなどして、必要な書類があれば前もって準備して接種に望むようにしてください。あとから補助の対象だったと思っても、さかのぼって補助はしてくれませんので、準備は怠りなくしてください。

さて、肝腎なインフルエンザの流行ですが、すでに北海道でも散発的にA型（おそらく香港型）の報告がありました。世界的には、新型インフルエンザの流行は限定的で、流行の多くはA香港型です。日本でも今年、新型インフルエンザの発生が見られますが、昨年新型にかかっていない子どもがほとんどだそうです。東京や千葉、大阪などでもA香港型による学級閉鎖の報告がありますので、集団生活をしているお子さんはできるだけ早期に、それ以外の方は12月には2回目終了されているように接種計画を立ててください。万全の準備でインフルエンザの季節を迎えたいものです。